

INDEX 2 学長寄稿／地域懇談会お知らせ 3 スターバックス15号館にオープン／アフリカ、国連Weeks開催お知らせ 4 新入生歓迎行事／カルト注意喚起

他者に寄り添い、ソフィアンとしての個性的な成長を



2024年度入学式が厳かな雰囲気の中で挙行された(東京国際フォーラム)

■入学式

4月1日、2024年度入学式が東京国際フォーラムにて挙行された。例年同様、午前・午後の2回に分けて実施。本年度は学部生2846人、大学院生603人、助産学専攻科生9人が入学し、新しい生活をスタートさせた。

式は上智大学管弦楽部の奏楽で始まり、カトリック・イエズス会センターの李聖一神父(午前の部)、アントニウス・フィルムシャー神父(午後の部)による祝福では、新約聖書のマタイによる福音書の一節が朗読され、上智聖歌隊・上智大学グリークラブが聖歌を合唱した。

曄道佳明学長は式辞の中で、「For Others, With Othersという上智大学の教育精神は、変わりゆく社会の中にあっても、ぶれることなく本学が追求、尊重し続けている精神基盤です。皆さんが、学び続けながら人間的成長を果たしていく中で、あるいは社会において役割を担う中で、常に強い意識を向けていただきたいと思います。上智大学という学びの環境で、弱い立場に置かれた人々のために、他者に寄り

添うソフィアンとしての成長を個性的に遂げられることを祈念しています」と、新入生を激励した。

新入生代表による入学の言葉では、秋山小百合さん(史学専攻／午前の部)が「多角的な視点で物事を見極めることのできる人間になれるよう、努力を怠らず学びを深めたい」、南田心春さん(法国／午後の部)が「仲間と互いに理解を深めると同時に、それぞれが学びを共有し協力することで、他者にどう寄り添うか、寄り添いたいかを模索する機会としたい」と、それぞれ学生生活への抱負を述べた。

サリ・アガスティン理事長は、「(イエズス会創立者の)イグナチオとザビエルが大切にしていたひとつのキーワードあるいは精神である『Magis』(マジス)というラテン語の言葉を紹介します。これは英語でbetter、日本語で『より良い』という意味です。つまり私たちはより良いものを目指し、学び、行動することを意味します。これから上智大学の環境で学ぶ皆さん、個人として、共同体として、Magisの精神をもってより良い人間、より良い社

会を目指しましょう」と祝辞を述べた。

続いて、森本聡上智大学後援会会長が「大学は、今すぐに役立つことを学ぶ場ではありません。上智大学の学びの場は、大学の教育プログラム、大学生活における交友関係を通して、学生一人一人の叡智の基盤を高めるものです。上智大学で培われた皆様の叡智が、For Others, With Othersの場で生かされることを願ってやみません」と新入生にエールを送った。

最後に、上智大学管弦楽部の演奏のもと、上智大学混声合唱団アマデウスコール・上智聖歌隊・上智大学グリークラブによる校歌斉唱で幕を閉じた。

■入学感謝ミサ

入学式の後、聖イグナチオ教会で入学感謝ミサが行われ、静謐な雰囲気の中、多くの新入生と父母が参加し、共に祈りを捧げた。

■上智大学後援会新入会員歓迎会

2号館5階の学生食堂では、在学生の父母・保証人からなる上智大学後援会主催の新入会員歓迎会が行われた。新入会員のほか、後援会役員、教職員など合わせて183人が参加した。

2024年度入学式



式辞を述べる曄道学長

午前の部新入生代表
秋山さん(手前)午後の部新入生代表
南田さん(手前)

祝辞を述べるアガスティン理事長



四谷キャンパスに集った新入生



多くの新入生がミサに参加した

新役職者紹介

任期は2024年4月から2年間

新学部長

■総合グローバル学部長

つる やすこ
都留 康子総合グローバル学部
総合グローバル学科教授

新センター長ほか

■基盤教育センター長

たけだ なほみ
武田 なほみ神学部
神学科教授

■Sophia Future Design Platform推進室長

いろはら たかし
伊呂原 隆理工学部
情報理工学科教授

■図書館長

まつもと なおこ
松本 尚子法学部
国際関係法学科教授

■研究機構長

あかほり まさゆき
赤堀 雅幸総合グローバル学部
総合グローバル学科教授

※Sophia Future Design Platform推進室長は再任。

北門広場にオブジェ誕生

新たなフォトスポットに

3月25日、麹町大通りに面した北門内の広場に「SOPHIA U」のロゴのオブジェが新たに完成した。

このロゴは、上智大学のグローバルなブランディングを念頭に、2022年に制定されたもの。人通りの多いキャンパスの玄関口に設置することで、本学の洗練されたイメージを訴求するとともに、正門前のS-TERRASSE、9号館アクティブコモンズ屋上庭園などに続く新たなシンボルとしての役割が期待されている。



オブジェ周辺は緑地化も推進された

北門内の広場一帯は、「上智の杜(もり)」として、サステナビリティ推進本部と環境整備グループが中心となり緑地化が進められてきた。

今後も同本部に所属する学生職員の発想力を生かしながら、誰もが安心して快適に過ごせるインクルーシブなキャンパスづくりを進めていく。

ソフィアの視点

Sophia Future Design Platform

－未来に向けたデザインを考える場－

学長 曄道 佳明



人の成長とは、継続的に、しかし節目を上手く使いつつ、自身の志や信念を育みながら生涯を通じて果たされるものと考えます。小中学校、高等学校、大学といった教育課程の枠組みは、当然この一助となるものですが、人の成長はその期間に、あるいはその枠組みの中で完結されるものではないことは言うまでもありません。

大学という場を考えると、学位に到達するためのカリキュラムが学びの軸になります。例えば学士の学位を獲得するためには、学科が提供する体系的プログラムによる専門性、全学に共通に提供される科目群による教養、コミュニケーション力を修得することが求められます。これは、人の成長という観点からは、専門知のみならず、深い思考力・洞察力、多角的な広い視野、他者との関わりへの姿勢など、学問を超えた大きな力を具備することを意味します。

さて、上智大学では、新組織「Sophia Future Design Platform 推進室」(略称：SFDP 推進室)を2023年夏に立ち上げました。この組織のネーミングは、この組織の二つの機能を意味しています。一つはここに集まる人たちが未来社会の創造を考える場、そして今一つは自分自身の将来を考える場という意味です。激しい社会変容の中で新たな社会をどうデザインするのか、自分の生き方、役割をどうデザインするのか、今を生きる全ての立場の人にとって「デザインする力」は極めて重要な資質と言えます。

SFDP 推進室の役割はこのような「未来に向けたデザイン」と向き合い、考え、挑戦する機会を提供しようとするものです。「単位」、「必修・選択」、「授業時間」といった学位プログラムでの「制度」に縛られることなく、全ての立場の人が大学に集い、議論し、未来に向けたデザインへのヒントを引き出す新たな大学の機能を発揮する試みです。

例えば、SFDP 推進室が展開する公開講座「プロフェッショナル・スタディーズ」では、ビジネスの最前線にいる人たちにとって、教養の具備と共に、その教養の発揮…例えば着想、構想を引き出す訓練の場が提供されます。普段触れることのない異質にこそ着想のヒントは隠れています。教養こそ、着想、構想を、そしてときに実装を支える有力な力と考えます。一方で、さまざまな立場の人たちに向けた「地球市民講座」もこの4月より開始されました。社会課題が溢れる中、社会の変革や技術の革新を意識しながら、地球市民としての人生観、役割を考え、各人の次なるステージを切り開く、そのような場になればと考えています。高校生、大学生から長きにわたり社会での役割を果たしてきた人たちまで、多層的な人の集いの場が何をもたらすのか、大いに期待されるどころです。

SFDP 推進室は今後、新たな発想の下で、多様な学びの場を、多層的に展開していきます。さまざまな立場の方たちがこの四谷のキャンパスに集い、対話や議論を重ね、各人が「何か」を持ち帰る…新しい上智大学のキャンパスの展開にどうぞご期待ください。

動画シリーズ「Learning at Sophia」新作公開

一人暮らし編と国際寮編に12人の学生が登場

本学での学びや魅力を学生や教員が語る動画シリーズ「Learning at Sophia」に、新たに「一人暮らし編」と「国際寮編」が加わり、上智大学公式YouTubeチャンネルで公開された。

「Learning at Sophia」シリーズは、主に高校生を対象に大学選びの参考にしてもらうことが目的の動画だ。

第1弾の学部編では、各学部の学部長や教員、在学生在が登場。それぞれの学部の学びの特徴に触れながら、在学中にどのような成長を遂げることが出来るのか、自身に重ねてイメージできるような構成が好評を博している。

第2弾となる「一人暮らし編」と「国際寮編」では、地元を離れ本学への進学を選択した12人の学生たちが登場。大学選びや東京への進学を決めた理由、東京での暮らしや大学での学び、将来の夢などに加え、国際寮と一人暮らしという選択から得られた気づ



大学公式YouTubeで公開中

きと成長について、体験を交えて語っている。

広報グループの担当者は、「第2弾では、地元を離れ、東京、そして本学に入学した学生たちが、自らの選択について語っている。それぞれの葛藤と決断、一人暮らしのリアルなど等身大の言葉で語っているので、特に地元が東京かで進路選択に悩む高校生にぜひ見てもらいたい」と話している。



YouTube動画はこちら

UC Berkeleyとの短期ビジネスコースを今秋学期開講決定

記念講演会に多数の企業社員と在学生在が参加

3月19日、上智大学 Sophia Future Design Platform推進室(プロフェッショナル・スタディーズ事務局)は、カリフォルニア大学バークレー校 Haasビジネススクール(以下バークレー-Haas)のSaikat Chaudhuri教授を講師に招き、「企業の変革および起業家精神と革新の重要性について」と題した講演会を開催した。本学ではバークレー-Haasおよびバークレーエグゼクティブエデュケーションとの連携により、プロフェッショナル・スタディーズ(以下、PS)会員企業を主対象とした短期ビジネスコース「Innovation Boot Camp」を2024年秋学期に開設する。本講演会は当該コースの開設記念として開催され、当日はPS参画会員企業の社員や在在学生ら約200人が参加した。



講演するChaudhuri教授



会場の様子

曄道佳明学長による開会の挨拶の後、Chaudhuri教授は「日本企業におけるイノベーションやアントレプレナーシップ、イントレプレナーシップ(社内起業家精神)、また既成概念の破壊を実現するスタートアップによる成長によって、日本は再び世界で新たなリーダーシップを発揮するだろう」と日本への大いなる期待を語った。

また、業界によって異なる成長トレンドを把握することの重要性を強調するとともに、かつてのリーディングカンパニーが衰退する一方で、大企業の中でも新たな技術変革を取り入れイノベーションを起こした企業の事例を挙げながら、「テクノロジーや市場の動向を予測しようとするのではなく、観察することで変化のタイミングを見つ



バークレー-Haasおよび本学のパートナーシップの記念写真

け出し、迅速に対応する必要がある」と語った。

そして、実際にイノベーションに成功した企業の特徴を挙げ、「日本は未来に投資し重要なタイミングをつかむことで、再びテクノロジーとイノベーションを牽引するだろう」と会場の参加者へ熱くエールを送り、約1時間の講演を締めくくった。

学生の父母・保証人の皆様 地域懇談会へご参加ください

5月25日から7月6日にかけて、第57回上智大学地域懇談会が全国11都市で開催される。学生の父母・保証人を対象に、本学の教育方針を説明するとともに、最近の大学の状況や取り組み内容について紹介することが目的。

東京会場(四谷キャンパス)では、午前に全体集会で大学の現況や上智大学後援会(父母会)の活動を紹介。続いて就職・留学説明会が行われる。午後は学科別集會および懇親会、就職・留学

に関する個人面談や、カウンセラーによる相談(東京B、Cのみ)も行われる。

東京地区以外の地方会場では全体集會、就職・留学の説明会(録画)と懇親会が行われる。

参加方法やプログラムの詳細については4月下旬から順次保証人宛に発送する案内状に記載している。問い合わせは総務グループ地域懇談会係まで。

▶TEL03(3238)3223

2024年度 第57回 上智大学地域懇談会 開催日程・会場

会場番号	開催地	開催日	会場名	対象学部
1	東京A	5/25(土)	上智大学四谷キャンパス	総合人間科学部、国際教養学部、理工学部
2	仙台	6/2(日)	TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口	全学部
3	大阪	6/2(日)	TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道	
4	札幌	6/9(日)	TKPガーデンシティ札幌駅前	
5	高松	6/9(日)	高松国際ホテル	
6	東京B	6/16(日)	上智大学四谷キャンパス	
7	新潟	6/22(土)	ホテルオークラ新潟	全学部
8	広島	6/23(日)	TKPガーデンシティ広島駅前大橋	
9	福岡	6/23(日)	TKPガーデンシティ博多	
10	静岡	6/29(土)	ホテルアソシア静岡	
11	長野	6/29(土)	ホテル信濃路	
12	東京C	6/30(日)	上智大学 四谷キャンパス	神学部、文学部、経済学部
13	名古屋	7/6(土)	TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口	全学部

奄美大島・宇検村エコスタディツアーに学生が参加 マングローブ植林体験も

3月14日から17日の日程で、鹿児島県奄美大島の宇検村の自然と文化、そしてマングローブ植林を体験するエコ・スタディツアーが実施され、本学の学生7人と講師として地球環境学研究科の織朱實教授が参加した。

このツアーは、2023年9月に本学、宇検村、日本航空株式会社(以下「JAL」)、伊藤忠商事株式会社(以下、「伊藤忠商事」)の4者が締結した宇検村における環境保全・地域振興に関する産学官連携協定に基づく取り組みの第一弾として、JALが企画した。本学学生に加え、伊藤忠商事の

社員およびその家族13人も参加した。参加者は奄美大島の歴史や、現地の伝統的な民謡である島唄の伝承について学んだほか、マングローブ植林作業や村内の名所訪問を通じて、宇検村の自然と文化に触れた。

また、織教授の発案で、カードゲーム形式で国連の提唱する持続可能な開発目標であるSDGsの概念を学ぶワークショップが実施された。織教授は「世界遺産とネイチャーポジティブ、エコツーリズムとSDGs」というテーマで

ミニレクチャーも行い、参加者は環境保全と地域振興の両立について理解を深めた。

参加した学生からは「JALとの連携講座を履修した際に、宇検村の観光事業を提案したいという思いがあったので参加できて嬉しい」、「宇検村や伊藤忠商事の方々と交流のほか、現地の自然や食をはじめとした文化に触れることができ、充実した4日間となった」などの感想が寄せられた。



このツアーは今後も本学、宇検村、JAL、伊藤忠商事の4者で改善を重ね、継続的に実施予定。4者はそれぞれが持つ人的・物的資源や専門的知見を生かしながら、宇検村のゼロカーボンシティ構想や生物多様性の保全、持続可能な地域活性化施策に取り組んでいく。

実践型プログラム「東南アジアに学ぶB」

タイの山岳少数民族と交流

グローバル教育センターでは、国際社会が直面する課題について講義と実践を通して理解を深める実践型プログラムを毎学期開講している。参加者は事前と事後講義の研修と、長期休暇中に海外で実施される現地研修の両方に参加することで単位を取得できる。

実践型プログラムの1コースとして、2023年度秋学期に「東南アジアに学ぶB」【担当 廣里恭史グローバル教育センター教授(当時)】が開講された。2月28日から3月8日まで本学学生および関西学院大学からの学生合計20人がタイに渡航し、首都バンコクと同国北部にあるイエズス会が設立したザビエル学習コミュニティ(XLC)に滞在した。

最初の訪問地バンコクでは、タイに

おける日系企業進出の概況に焦点を当てた講義を受講した他、実際に街を探索しながら、発展する社会のエネルギーを体感した。

次の訪問地XLCでは、山岳少数民族の1つアカ族の村を訪問したり、別の山岳少数民族タイラー族の人々とい、直接話を聞く機会に恵まれた。

XLCには寄宿しながら学んでいる少数民族出身の若者たちがいる。参加者は彼らと「少数民族と多文化社会」、「環境保全」、「農業と所得創出」、「教育とヘルス」についてグループワークで意見交換し、最終日に学んだことを発表した。他にも、植林や地元小学校でのボランティアなどの協働活動を通して彼らと交流を深め、フェアウェルパーティでは互いに別れを惜しんだ。



現地小学校でのボランティア活動

参加学生はタイに留学経験のある者から、海外は初めてという者までさまざまであった。本学からの参加学生の1人である山本彩乃さん(国教2)は、「このプログラムでは、日常生活では思いつかないような社会問題に直面したり、異文化交流の場面が多くあったりと、自分の当たり前と価値観を覆し、視野を広げる貴重な経験でした。毎日『明日はどんな新しい発見があるのだろう』と期待するくらい充実していました。参加者全員にとって自己を振り返ることのできる良い機会だったと思います」とプログラムの感想を語っている。

スターバックスが 15号館にオープン 新たな地域の交流拠点に

4月1日、スターバックス 上智大学四谷キャンパス店が15号館1階にオープンした。

入学式が行われたこの日、店舗は晴れ姿の新入生でにぎわいを見せた。

2022年5月に完成した木造3階建の上智大学15号館。四谷キャンパスで最も新しいこの建物は、多摩産の木材が格子状に組み込まれた外観がトレードマークとなっている。

麹町大通りに面した15号館の立地を生かし、スターバックスの新店舗が上智生や教職員、来校者、地域の人々と共にコーヒーを通じてつながる場となることで、活気あるコミュニティづくりをめざしていく。

■営業時間：7:00~20:00(月~金) / 8:00~19:00(土日祝)

■定休日：不定休



木材格子がトレードマークの15号館

開室時間：平日 9:00~11:30、12:30~16:30(土日祝日、年末年始、学院が定める休日は閉室)

詳細・問合せは上智学院ソフィア・アーカイブズ(03-3238-3294)まで ※学外の方は図書館入館の際にソフィア・アーカイブズの見学希望である旨を申し出てください。

〈上智の「鷲」のマークに関連した企画展も開催中〉

■わしまみれ展

場所：中央図書館1階

会期：5月31日まで

■上智の「鷲」とともに

—大学の理想と「校章」—

場所：6号館(ソフィアタワー)1階展示スペース

会期：未定

ソフィア・アーカイブズ 展示コーナーがリニューアル

ソフィア・アーカイブズ内の展示コーナーがリニューアルされた。常設展では、日本での大学設立をイエズス会に要請した教皇ピオ10世や、2019年に本学に来校した教皇フランシスコなど歴代教皇と本学との関わりが一目でわかる写真や解説、上智学院のあゆみを辿る略年表、イエズス会教育の紹介など、随所に工夫を凝らした展示がされている。

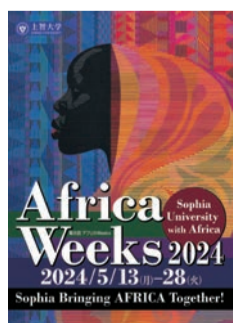
さらに、紀尾井町に上智大学が誕生



し地域と共にキャンパスが拡張していった様子や学生生活の今昔などの展示に加え、企画展では国内外からの数多くの来訪者の紹介や、大学紛争を写真で紹介するコーナーなども設けている。

場所：四谷キャンパス 中央図書館9階(北側922室)

第8回 アフリカWeeks 2024 5月13日(月)~28日(火)



【セミナー】5/13(月)	上智大学アフリカ研究紹介
【セミナー】5/15(水)	フランス語を活かしてアフリカで働く
【講演会】5/21(火)	アフリカの口承文学と現代
【講演会】5/22(水)	アフリカの人々と場所
【シンポジウム】5/24(金)	2024 アフリカ・デー記念講演会 高校生・大学生限定
【シンポジウム】5/27(月)	AFRI CONVERSE 2024 in Sophia
【セミナー】5/28(火)	変わるタンザニアビジネスとパートナーシップ

大阪サテライトキャンパス

【シンポジウム】5/19(日)	プレザントリ(冗談)が繋ぐ友愛の文化 ~コートジボワールに見る笑いの交渉術、その起源と歴史~
-----------------	--

【学生企画】With Africa

雑誌企画	アフリカに関する仕事に取り組むソフィアン(卒業生)インタビューなど
------	-----------------------------------



各イベントの詳細、参加申込みはこちらから

第21回 国連Weeks June 2024 6月7日(金)~24日(月)

【講演会】6/7(金)	命のビザ、国連の精神、そしてオランダのコミットメント
【シンポジウム】6/10(月)	中東和平を考える
【セミナー】6/11(火)	JICAの平和構築への挑戦 ~国際機関との連携も含めて~
【講演会・ワークショップ】6/13(木)	国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ
【シンポジウム】6/18(火)	気候変動:地球規模の課題にどう対処するか
【セッション】6/22(土)	国連システム学術評議会(ACUNS)年次大会 人間の開発セッション

写真パネル展(於:2号館1階エントランス)

6/7(金)~24(月)	キュラソー・ビザ:ズワルテンダイク・オランダ領事と杉原千蔵「命のビザ」の原点
--------------	--



各イベントの詳細、参加申込みはこちらから

キャリアセンター発行

SOPHIA STYLE 2024
新たな行動を起こすきっかけに

キャリアセンターから学部新入生を対象としたセルフディスカバリーマガジン『SOPHIA STYLE 2024』が発行された。今年のテーマは「Forge your journey 夢のシナリオ」。在学生インタビュー、在学生と卒業生のクロストーク、スペシャル座談会などにより、上智のフィールドを生き、夢に向かって主体的に動く先輩たちの軌跡を各ページで紹介している。

他には、ソフィアたちの学生生活の一部を垣間見ることができる“上智生バイト図鑑”や、低学年生に在学中で叶えたい夢や目標をインタビューした“上智大学で1・2年生がやりたいこと”、また、巻末にはキャリアセンターの活用方法も紹介しており、学生生活を彩るヒントが詰まった内容となっている。

キャリアセンターの担当者は、「学生生活は社会に出る準備の場であり、在学中にどんなことでも良いので夢中



今年のテーマはForge your journey

になって取り組むことが希望ある未来を切り拓く一歩となる。この冊子にはさまざまなソフィアの姿が掲載されているので、是非手に取って、読んで感じて考えることで何か行動を起こすきっかけになれば嬉しい」と話している。

『SOPHIA STYLE 2024』はキャリアセンターで配布中。またWEB版コンテンツ『SOPHIA STYLE オンライン』も、上智大学公式ウェブサイトでも公開中。

キャリアセンターガイダンス一覧

開催日	開始時刻	終了時刻	名称
5月2日	14:00	16:00	公務員試験対策講座相談会
5月9日	17:20	18:50	インターンシップ前に知っておきたい!『自己分析の基本講座』
5月10日	12:45	13:20	留学生ガイダンス③:夏期インターンシップの実態とスケジュール
5月13日	17:20	19:00	総合就職ガイダンス②:~インターンシップ対策:ESでの「伝え方」~
5月14日	17:20	18:50	【学部1、2年生対象】映像を通して先輩社会人に学ぶ!「はたらくこと」を考える講座
5月15日	17:20	18:50	【大学院生対象】就職ガイダンス①:大学院生の就職活動のポイント
5月16日	12:45	13:20	留学はキャリアにどうつながる? ~留学を検討している学生に知ってほしい留学経験の活かし方~
5月16日	18:00	19:30	【中国語開催】日本での就職活動を成功させる戦略について
5月17日	12:45	13:20	業界・企業研究セミナー ~業界MAP活用講座~
5月22日	17:20	18:20	【大学院生対象】就職ガイダンス②:上智大学院での学びと研究職へのキャリア(文系)
5月23日	12:45	13:20	留学前・留学中の就職活動準備について~就活スケジュールや動き方~
5月23日	17:30	20:00	職種理解フェア
5月24日	12:45	13:20	留学生ガイダンス④:筆記試験対策
5月27日	12:45	13:20	【英語】The Resume Blueprint:Effective Resume Writing in English
5月29日	12:45	13:20	Career Forum (キャリアフォーラム)の歩き方

※上記は変更する場合があります。最新情報・詳細はWEBキャリアセンターのガイダンス情報をご確認ください。
(「Loyola」>就職・キャリア支援>webキャリアセンターはこちらから>ガイダンスを探す」より)

新入生を狙った勧誘に気をつけて
カルト団体や悪質商法の可能性も

例年、4月から5月にかけては、LINEやインスタグラムなどのSNSを通じて、新入生向けの交流会への招待や、本学学生限定と銘打ったサービスなどへの勧誘などが増加する傾向にある。それらの企画に本学は一切関知していないので、十分な注意が必要だ。

中には新入生をターゲットに、本学の課外活動団体を装った学外団体やカルト宗教、悪質商法などが正体を隠してイベント告知や勧誘を行っていることもある。主催者のはっきりしない企画にはたとえオンラインであっても決して参加しない、見覚えのないダイレクトメール(DM)には決して返信しない、メールアドレスや個人IDなど連

絡先を安易に登録・交換しない、というように個人情報の管理には厳重に対処することが重要だ。

特にDMを用いた個別の勧誘活動等は、外部からその様子を把握することが困難である。少しでも怪しいと感じたら、安易に情報を開示せず、慎重に対応することが必要だ。



実際に被害にあったり、身近で不審な事柄などを見聞きしたりした場合は、学生センターへ早急に相談してください。判断に迷うようなことであっても、少しでも不安を感じたら、躊躇せず相談を。

新入生歓迎行事

大学生活のスタートを上級生がサポート

四谷キャンパスへ新入生を迎え、学教職協働「ピア・カフェ」プロジェクトの「#春から上智の日」、学部学科ごとに教員と新入生が集う「オリエンテーション・デイ」、課外活動団体による新入生歓迎行事「フレッシュマンウイーク」などが行われた。

#春から上智の日

3月23・24日、これからの大学生活に期待を膨らませる新入生が、一足先に交流できる「#春から上智の日」が9号館アクティブ・コモンスで開催された。学教職協働「ピア・カフェ」プロジェクトの学生、教職員が企画・運営を行う、入学前に新入生同士が交流できる唯一の大学後援イベントだ。上智クイズやワークなどで新入生同士のつながりをつくと同時に、上級生から学



さまざまな企画を通して親睦を深めた学生生活のヒントや体験談を聞くことで、これからの大学生活を前向きに捉えてもらうことを目的としている。

ほとんどが一人参加であるものの、イベント終わりには同級生や上級生と親睦を深めて連絡先を交換したり、入学式での再会を約束した新入生も多く、両日とも盛況のうちにイベントを終えた。

オリエンテーション・デイ

4月3日から5日の3日間にわたり、四谷キャンパスでオリエンテーション・デイが学部学科ごとに開催された。本学の教育精神である「他者のために、他者とともに」を体現する伝統的な行事で、新入生がスムーズに大学生活を始められるよう、勉学や学生生活に関するガイダンスを行うことを目的としている。かつては「オリエンテーション・キャンプ」と呼ばれ、宿泊



研究室で教員から説明を受ける新入生

施設で行う1泊2日のプログラムであったが、昨年度から個々の学生の多様性に配慮し、一部の学科を除いて日帰り形式での実施となった。

学科集会では、教員の紹介、学科のガイダンスや履修登録の説明などが行われた。また、「学生ヘルパー」と呼ばれるボランティアの上級生も参加。会場では終始和やかな雰囲気の中で、新入生は上級生から履修や学生生活のアドバイスを受け、同級生とも親睦を深めた。



新入生にアドバイスをする学科ヘルパー

フレッシュマンウイーク

この企画はフレッシュマンウイーク実行委員会が主催し、約160の課外活動団体が参加する新入生歓迎イベント。今年度は4月9・10日の2日間にわたり開催された。特設ウェブサイトやSNSでは、新入生が効率的に会場を回れるように情報を整理して公開したほか、学食や売店など新入生向けに役



160もの課外活動団体が参加した

立つ情報も紹介した。

メインストリートや各教室に配置されたそれぞれのブースでは、課外活動団体に所属する上級生たちが、揃いのユニフォーム姿でプラカードなどを掲げ、活動内容の宣伝を行った。新入生は、次々に話しかけてくる上級生に最初は戸惑いながらも、団体の活動や大学生活全般の話などに熱心に耳を傾けていた。



上級生がパフォーマンスで盛り上げた

上智大学通信読者アンケートへのご協力、ありがとうございます

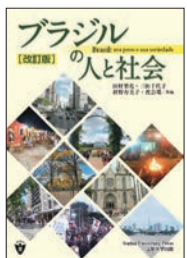
先日実施した上智大学通信の読者アンケートには、大変多くの方々にご回答いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ、今後の改善に生かしてまいります。今後とも上智大学通信をよろしく願います。

訂正

上智大学通信第475号8面「上智大学創立110周年記念研修旅行 イエズスの精神、大学の歴史を学ぶ」記事、六甲学院の校名について

【誤】六甲学院中学・高等学校
【正】六甲学院中学校・高等学校

SUP 上智大学出版 新刊紹介



■『ブラジルの人と社会 改訂版』
田村梨花・三田千代子
拝野寿美子・渡会環
【共編】
(2100円+税)

ぎょうせいオンラインショップ、全国主要書店および紀伊國屋書店上智大学店で販売中。



ぎょうせいオンラインショップはこちらから